

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

91

魅力ある商店街づくり事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		商工業振興費	
	大事業		商工業振興事業	
中事業		魅力ある商店街づくり事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑 圭司 435-1233
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	商業振興のため		商業振興のため、商業団体等へ補助金を交付する。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	商店街等が実施する、商店街の魅力を発信するために新たに実施する事業や夜間における賑わいの創出が見込まれる事業、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」へ対応するために、新たに実施する事業に対し補助金を交付する。	商業団体等が実施する、商店街の魅力を発信するために新たに実施する事業や夜間における賑わいの創出が見込まれる事業に対し補助金を交付する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,000	2,084	4,000	2,529	4,000	1,654	4,000	0	4,000	0	
伸び率（%）	0%	733.6%	0%	21.4%	0%	△34.6%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	931	2,871	2,881	2,959	2,750	2,750	2,515	0	2,515	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	931	2,871	2,881	2,959	2,750	2,750	2,515	0	2,515	0
国庫支出金	2,000	1,042	2,000	1,265	2,000	827	2,000	0	2,000	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	2,000	1,042	2,000	1,264	2,000	827	2,000	0	2,000	0	
所要人数（人）	正規職員	0.12	0.37	0.37	0.38	0.35	0.35	0.32	0.00	0.32	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	商業活性化支援事業補助金 4,000千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
夜間における賑わいの創出が見込まれる事業への助成件数		件	目標値	4	7	7	7	7
			実績値	2	2	3		
			達成度(%)	50%	29%	42%	%	%
商業団体や個店が商店街魅力発信のために新たに実施する事業への助成件数		件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	4		
			達成度(%)	60%	80%	80%	%	%
空き店舗率（空き店舗数／総店舗数）		%	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	18.3	18.5	18.6		
			達成度(%)	91%	92%	93%	%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街への補助金交付により、コロナ禍で落ち込みつつあったまちなかの活気を取り戻し、賑わいの創出に寄与しており、今後も継続して支援していくことにより商店街の魅力向上を図ることができると考えられる。</li> </ul>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客・販促支援事業に対する補助を平成29年度に廃止した。</li> <li>・平成30年度にナイトタイムエコノミー振興事業に対する補助制度を創設した。</li> <li>・令和3年度に新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」へ対応するために、新たに実施する事業に対する補助制度を創設した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」へ対応するための「新しい生活様式対応事業」を令和3年度をもって廃止した。</li> <li>・令和6年度はナイトタイムエコノミー振興事業のうち、けやき大通りイルミネーションと連携して実施する事業に対する上乘せ補助制度を創設する。</li> </ul>